

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
生活	講義	2	片山 雅男

【授業のテーマ及び到達目標】

児童に寄り添った生活の授業を行うための考え方と知識を身につける。

教材研究を通して「生活科」の内容についての知識を習得するとともに、幼稚園教育との関連や総合的な学習への展開等についても理解を深める。幼稚園から小学校低学年の教育を視野に入れた保育ができる広い見通しをもった幼稚園・小学校教員を目指す。

【授業の概要】

「生活科」は小学校低学年児童の身近な生活圏を学習の対象とし、児童の体験や具体的な活動を通して、自立への基礎を育むことをめざす科目である。本講義では、「生活科」の特質や目標、内容などについて学ぶ。なお、講義を中心に、アクティブラーニングも行う。

【全体の授業計画・内容】 講義進行上、講義順・内容の一部が変更されることもある。

1. 小学校教育と生活科の特質
2. 生活科の目標と内容
3. 学校と生活の内容
4. 家庭と生活の内容
5. 地域と生活の内容
6. 公共物や公共施設の利用の内容
7. 季節の変化と生活の内容
8. 自然や物を使った遊びの内容
9. 飼育活動の内容
10. 栽培活動の内容
11. 生活や出来事の交流の内容
12. 自分の成長を振り返る内容
13. 生活科と幼稚園教育との連携
14. 生活科から総合的な学習への発展
15. 試験およびまとめ

【準備学習の内容】

予習のあり方：各内容に関して、関心を持ち、小学校学習指導要領解説を前もって読んでおくこと。

学習のあり方：小学校低学年の児童の能力・行動を念頭におき、各内容の理解に努めること。

復習のあり方：プリントで内容について再確認するとともに、疑問点の有無を確認し、あれば次回質問する。

【成績評価】

筆記試験(60%)、提出物(20%)、受講態度(20%)により評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

試験に対して、後日、コメントを記入したものを配布する。

【テキスト】

『小学校学習指導要領解説 生活編』 大日本図書

適宜プリントを配布する。

【参考文献】

講義の中で紹介する。